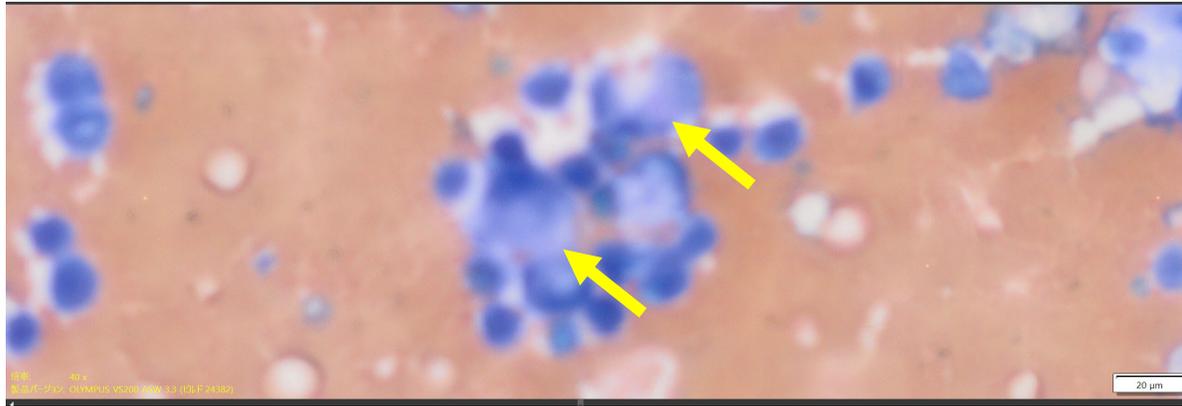
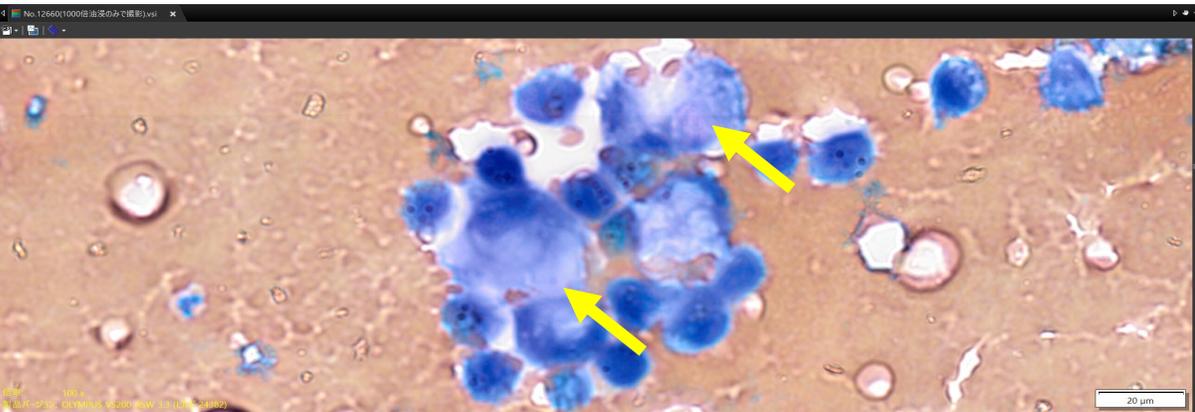


バーチャルスライドで、油浸1000倍像+zスタック撮影について(通常撮影との違い)



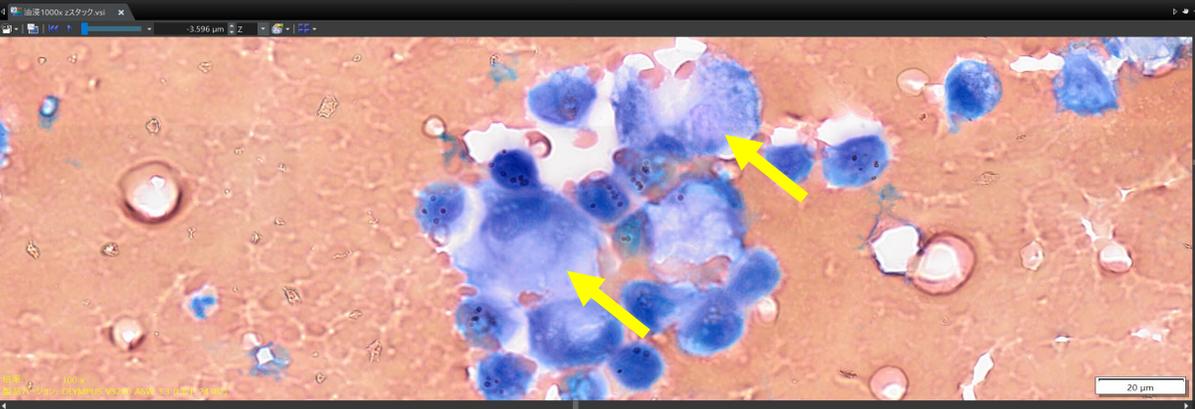
▲：400倍像で撮影した血液塗抹標本

血液塗抹標本を通常の顕微鏡倍率400倍相当で撮影すると、左写真の様に、細胞がぼやけて見える(矢印)。通常のバーチャルスライド撮影では限界がある。



○：油浸1000倍像で撮影した血液塗抹標本

EVIDENT社製最新機種：VS200では、油浸撮影が可能になったため、顕微鏡倍率1000倍で撮影すると、細胞がはっきりと確認でき、この像でも診断は可能であるが、まだ細胞質内のピントがクリアではない。



◎：油浸1000倍像+zスタックで撮影した血液塗抹標本

最新機種：VS200では、さらにZスタック機能があるため、油浸1000倍撮影+zスタックで撮影すると、細胞内まではっきりと確認できるようになった。

※Zスタック機能とは：複数エリアの深さを変えて撮影したデータから、すべての面にフォーカスの合った全焦点画像を作成することをいいます。塗抹標本の場合は、塗抹される方のテクニックによるため、厚さムラが生じ、ピントが合わないことが多いので、何層も撮影して、一番フォーカスが合うように撮影することが可能になりました。